

第6学年3組 国語科学習指導案

平成21年2月5日(木) 第5校時

授業者 和田小学校教諭

(T1)

成和中学校教諭

(T2)

- 1 単元名 学習したことを生かして
題材名 海の命(物語)、今、君たちに伝えたいこと(談話)、生きる(詩)
- 2 単元の見積
・自分で学習方法を工夫して取り組み、生き方についての自分の考えを持とうとしている。
(関心・意欲・態度)
・考えたことや自分の意図が伝わるように話したり、友達の意見を聞いたことをふまえて考えを深めたりすることができる。(話す・聞く)
・調べたことを整理して書いたり、討論に向けた発表原稿を効果的に書いたりすることができる。(書く)
・生き方を示す描写や叙述から、自分の考えを深めることができる。(読む)
- 3 単元について
「学習したことを生かして」では、児童が今まで学んできた方法を生かして、楽しみながら自分なりに学習することが、「自ら学び考える力」すなわち「生きる力」につながるものとしている。児童が主体的に目標を設定し、学習方法を工夫して取り組むことで、これまでの学習の再確認をし、自分の力で課題を解決したという達成感も得られるであろう。
本単元では、「生き方」をテーマにした作品が三つ題材として準備されている。作品が三つあることで、夢の実現に向けて今を大切にすることや、思いを持っていろいろなことにチャレンジしてみることに、今という一瞬に目をとめて何かを感じるということなど、生き方を考える上で大切なことについていろいろな面から考えることができる。そのため、様々な思いを持った児童一人一人が、自分の思いとつなげやすいのではないかと考えられる。
卒業を控えた児童にとって、自らの力で学び、生き方について考えることは、中学校へ向けて自分なりの目標やめあてを持てる単元でもある。
- 4 児童について
各教科の学習や学校生活の様々な場面で書くことを重視して取り組んできたので、ほとんどの児童が、書くことへの抵抗は少ない。しかし、考えをノートに書き表すことはできても、それを他の人と比較したり、他の人の考えを聞いてさらに考えを深めたりすることは十分ではない。また、自信を持って伝えることができる児童も少ない。相手に伝わるように話す工夫が不十分で、一本調子の話し方が目立つ。
そこで、帰りの会で毎日続けているスピーチに加え、授業での話し合い活動も多く取り入れるようにしている。話し合うことで自分自身の考えが深まることを体験させて、伝えることへの意欲を高めるために、国語「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」の単元では、パネルディスカッションの手法を用いた話し合い活動に取り組んだ。意欲を持って前向きに発表できた児童が多く見られ、もう一度パネルディスカッションをしてみたいという感想も持っていたようだ。しかし、小グループでの助け合いがないと、考えに自信を持ってない児童も多く、自分自身で考え、聞き、伝える力をさらにつけていく必要がある。
- 5 指導について
〈単元の指導について〉
三つの題材に共通している「生き方」を読み視点として、児童は一人学習で自らの「生き方」に関するヒントを題材から見つけ、生き方について自分の考えを持てるようにする。その後、自分の考え方を根拠づけたり、さらに思いをふくらませるために調べ活動に取り組む。最終的に、「生き方」というテーマについて、学級全体での話し合いの場を設けたい。
その際、聞き手を意識した話し方や、聞いたことをふまえてさらに自分の考えを伝える力を育てるための手法として、パネルディスカッションを取り入れたい。パネルディスカッションの形態で話し合うのは本時が二度目である。「生き方」という壮大なテーマについて話し合いをすることは、ともすると焦点がぼやけたり、考えがまとまらなかつたりすることが心配される。そこで、児童がスムーズに話し合いに参加できるように、次のような手立てを工夫したい。
①「生き方ヒント集」作りをする。
三つの題材から、「生き方」についてのヒントを見つけ出し、ワークシートに書きためていくことで、それをヒント集とする。ヒント集にはその後の調べ活動で見つけたことも書きためられるようにしておく。
②話し合いのテーマを中学校での生き方にしぼる。
「私は中学校時代をこう生きる」というテーマにすることで焦点化を図り、間近に迫った中学校生活での生き方、さらにはその理由について話し合いを展開させたい。
③課題の自力解決のための支援をする。
教科書からヒントを見つけにくい児童のために、グループでの伝え合いの時間を設けて気付きを増やしたい。また、調べる方法や視点を話し合うことで、学習方法を見つけにくい児童の手がかりとしたい。
〈小中連携の取り組みについて〉
「学び合い」のある授業を目指すためには、「話す・聞く」力の基本が身につけていなければならない。そして、中学校では自分の考えを大勢の前で、即時に伝えなければいけない場面が数多くある。そのため、より質の高い話し合いにも積極的に参加できる力を育てる必要がある。そこで、下記の観点(学習指導要領H20年3月告示より)をふまえ、中学校での観点も視野に入れて、発展的な「学び合い」の力を育てることを目指したい。

小学校5・6年「話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。」
中学校1年「必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。」

進学を控えた今だからこそ、中学校教諭とのT.Tによる授業にすることで、児童にとって進学への不安を和らげたり、中学校への希望をふくらませたりすることのできるものになりたい。そのために次のような手立てを工夫したい。

- ①成和中学校の生徒が書いた詩「生きる」を聞く。
谷川俊太郎の詩「生きる」をもとに中学生に詩を書いてもらい、それを聞くことで、中学生の思いに共感し、安心感を得られるようにしたい。
- ②討論後に中学校の先生からのアドバイスをもらう。
より専門的な知識に触れる喜びを味わい、中学校への意欲と希望を持てるようにしたい。また、中学校の先生と一時間一緒に授業をすることで、親近感を覚え、不安を和らげるようにしたい。

6 指導計画（13時間配当）

第1次（2時間） ・学習の見通しを持つ。	第1時 これまでの学習を振り返り、学習方法について話し合う。 第2時 題材を通読し、共通のテーマ「生き方」を確認する。
第2次（5時間） ・題材を読んで「生き方ヒント集」を作ろう。	第3時 「海の命」を読んで生き方のヒントを探す。 第4時 「海の命」を読んでヒント探しの確かめをする。 第5時 「今、君たちに伝えたいこと」を読んで生き方のヒントを探す。 第6時 「生きる」を読んで生き方のヒントを探す。 第7時 見つけたヒントをグループで伝え合う。
第3次（3時間） ・調べ活動を通して「生き方」について考えよう。	第8時 テーマを確認し、調べ方について話し合う。 第9時 調べ活動をする。 第10時 調べ活動をする。
第4次（3時間） ・パネルディスカッションをして、中学校での生き方について考えよう。	第11時 討論の準備をする。 第12時 討論の準備をする。パネラーを決める。 第13時 パネルディスカッションをする。（本時）

- 7 本時の目標
生き方について、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いて考えを深めたりすることができる。

- 8 準備物
司会者とパネラーの机・椅子、パネラーの発表資料、中学生の詩

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援（・）と 評 価（☆）
○本時のめあてを確認する。 ・予想される児童のめあて 「たくさん発表して意見を言う。」 「わかりやすく伝える。」	・本時の目標をふまえた上で、個人のめあてを確認し、意欲を持てるようにする。（T1）
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>パネルディスカッションをしよう。 テーマ：『私は中学校時代をこう生きる』</p> </div>	
○パネルディスカッションをする。 ①テーマ説明…（司会者） ②意見発表1…（パネラー） ③質疑応答…（パネラー） ④意見交換…（パネラー・フロアー） ⑤意見発表2…（パネラー） ⑥まとめ…（司会者） ・予想される児童の反応例 「中学校時代を勉強に生きたい。 理由は、将来医者になりたいから。」 「中学校時代を部活動に生きたい。 理由は、スポーツ選手になりたいから。」 「中学校時代を友情を大切に生きたい。 理由は、友達がいると安心できるから。」	・司会者の事前指導をしておく。（T1） ・討論がうまく進まない時は、進行の手助けをする。（T1） ・討論の様子を見守り、場に応じて発言する。（T2） ☆わかりやすく発言していたか。（発言…話・聞） ☆友達の意見を聞いてメモを取ったり、自分の考えをまとめ直したりしていたか。（発言・ワークシート…話・聞）
○パネルディスカッションの振り返りを書いて、感想を発表する。	・話し合いの仕方について、感想を述べたりやアドバイスをしたりする。（T2）
○中学生の自作の詩「生きる」を聞く。	・中学校への不安がやわらぎ、希望が膨らむように、メッセージを伝える。（T2） ・本時で読むことのできなかつた詩も授業後に掲示する。（T1）
○ワークシートに振り返りを書いて、今日の授業の感想を発表する。	☆生き方についての考えは深まったか。（ワークシート…聞）

10 授業の観点

- ・生き方について考えるために、パネルディスカッションという手法を用いたことは有効であったか。